

## 相談内容概況

山形いのちの電話では、午後1時から午後10時まで3交代で電話を受け付けています。

【概況】2019年の電話相談受付件数は7,131件で、昨年6,615件から516件の増でした。

内訳として男性3,935件、女性3,196件ですが、40代までは男性から、50代以上は女性からの相談が多くなる傾向です。年代別では30代から50代のいわゆる働き盛りの年代からの相談が多くなります。

内容別では「精神」「人生」「家族」の順となっています。昨年に比べると「精神」は1,649件で189件の増、「人生」は1,308件で255件の増、「家族」は848件で181件の減少でした。

【自殺傾向】自殺傾向の相談電話は555件、全体の7.8%で、内容別では「精神」223件、「人生」172件、「家族」が42件、「対人」32件、「身体」30件と続いています。年代別では50代が10.4%、70代が10.3%、20代が9.4%、30代が9.3%でした。

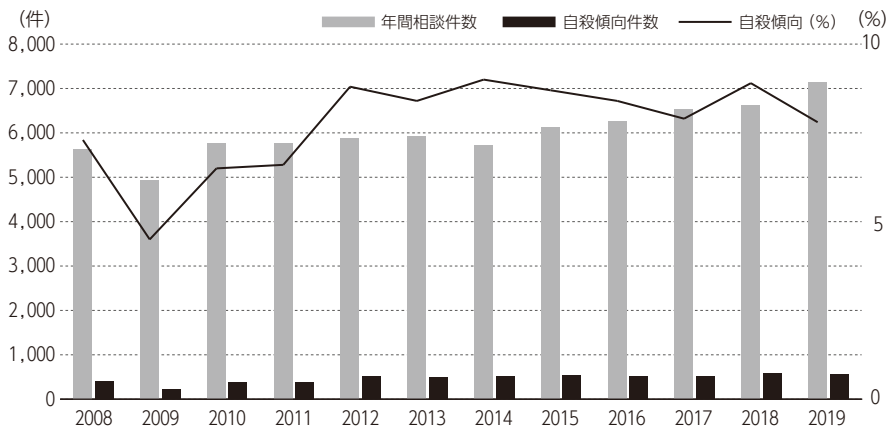
【自殺予防フリーダイヤル】厚生労働省の補助事業の「自殺予防フリーダイヤル」は毎月10日、深夜も受けており、山形センターでは年間363件の受信となりました。毎月平均30件の電話相談に応じ、通常の電話相談に比べ自殺傾向は高く24.2%です。全国いのちの電話が協力体制を組んでおり、山形いのちの電話もその一員として事業に参加しています。

具体的な訴えとして、「一人暮らしで話し相手がいない」、「話し相手になってほしい」、「自分の考えを聞いてほしい」、という声のほかに、「世間話」で終わる方、「眠れないので電話した」など格別悩みがないように見受けられる電話も多くあります。しかし、人との関わりや対人関係をうまく築けず、孤独や寂しさを抱え孤立している人には、いのちの電話の存在意義は大きいと痛感しています。

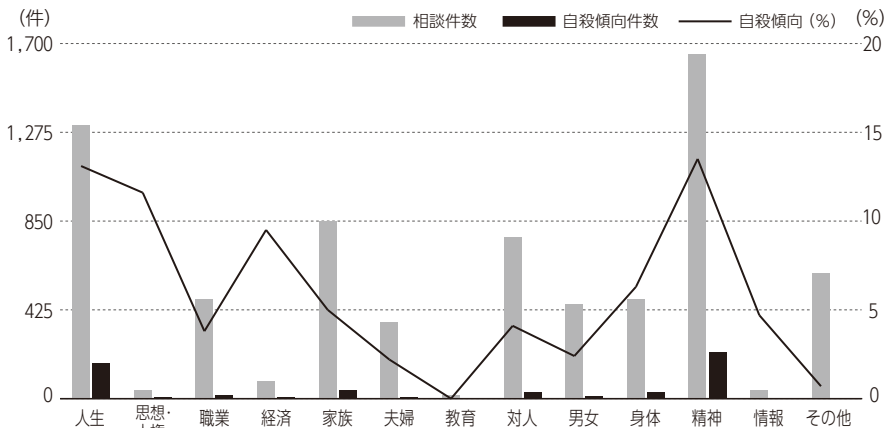
電話が繋がって、はじめ暗かった声が話をしているうちにだんだん明るくなっていき、最後には「話ができてよかった」と言って下さる方、「いのちの電話に救われています」という声に、相談員ボランティアは励まされています。

山形いのちの電話の相談員は一本でも多くの電話相談を受けたいと頑張っております。これからもご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

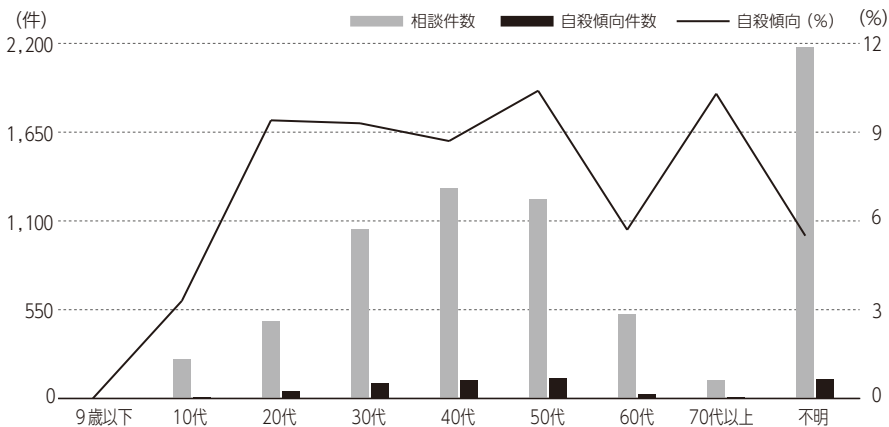
## ① 年間相談件数と自殺傾向件数の推移



## ② 内容別相談件数と自殺傾向件数



### ③ 年代別相談件数と自殺傾向件数



### ④ フリーダイヤル内容別相談件数と自殺傾向件数

